

# 宮城県商工地区中小企業景況調査報告書

2024年10月～12月期

## 目次

1. 県下産業全体の景況 .....	2
(1) 主要景況項目のあらまし .....	2
(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし .....	3
(3) 今後の見通しについて .....	4
2. 県下産業別の景況 .....	5
(1) 製造業の動向 .....	5
(2) 建設業の動向 .....	8
(3) 小売業の動向 .....	11
(4) サービス業の動向 .....	14

2025年3月

宮城県商工会連合会



# 中小企業景況調査報告書

2024年10月～12月

## [調査要領]

### 1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内10商工会地区  
(調査対象商工会名) 名取市商工会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、利府松島商工会、くろかわ商工会、加美商工会、遠田商工会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、石巻かほく商工会
- (2) 対象企業数 150企業
- (3) 回答企業数 149企業

### 2. 調査対象期間

2024年10月～12月期を対象として、調査時点は2024年12月1日とした。

### 3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

### 4. 回答企業内訳

業種	企業数
製造業	32
建設業	24
小売業	43
サービス業	50
合計	149

### 5. その他

本報告書中のD Iとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

# 1. 県下産業全体の景況

## (1) 主要景況項目のあらまし

### ① 業況D Iの状況と来期見通し

県下商工会地区における今期（2024年10月～12月期）の調査において、産業全体（全産業）の業況D I（前年同期との比較D I、以下同じ）は、前期より△8.5ポイント悪化し△36.2（前期△27.7）となった。産業別では、製造業が△31.3（前期△25.0）で△6.3ポイントの悪化、建設業は△45.8（前期△20.9）で△24.9ポイントの悪化、小売業は△46.5（前期△54.8）で8.3ポイントの改善、サービス業では△26.0（前期△10.0）と△16.0ポイントの悪化となった。

来期見通しでは、製造業で横ばい、建設業、サービス業で改善する一方、小売業では悪化する見通しとなっている。

表－1 業況D Iの状況と来期見通し（前年同期比・D I）

業種	前期	今期	来期見通し
全産業	△ 27.7	△ 36.2	△ 35.6
製造業	△ 25.0	△ 31.3	△ 31.3
建設業	△ 20.9	△ 45.8	△ 41.7
小売業	△ 54.8	△ 46.5	△ 48.8
サービス業	△ 10.0	△ 26.0	△ 24.0

### ② 設備投資の状況と来期計画

新規投資の実施比率は、製造業が15.6%で前期比横ばい、建設業は8.3%で前期比8.3ポイント増加、小売業では11.6%で前期比横ばい、サービス業では12.0%で前期比△2.0ポイントの減少となった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期に比べて製造業、小売業、サービス業で減少、建設業で増加する見通しとなっている。

表－2 設備投資の状況と来期計画（企業割合・%）

業種	前期	今期	来期計画
製造業	15.6	15.6	9.4
建設業	0.0	8.3	16.7
小売業	11.6	11.6	4.7
サービス業	14.0	12.0	10.0

## (2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

### ① 売上額（完成工事額）

2024年12月調査の日銀短観で、「中小企業の業況判断指数（D I）は前期（2024年9月調査）と比較し、「製造業が1ポイント上昇しプラス1、非製造業はプラス16で前期比2ポイント上昇。自動車生産の回復基調に加え、インバウンド消費を含むサービス需要の回復や、デジタル化の進展を受けた情報通信サービス業の業況改善などを背景にD Iは高水準を維持とする一方、家計の節約志向が引き続き強いことや、人手不足が深刻化していることが景況感を下押しする見込み」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）D Iは、前期との比較では製造業、建設業、サービス業で悪化、小売業で改善となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額D I比較では、製造業、建設業、サービス業で全国・東北以下、小売業で全国以下・東北以上であった。

表－3 売上額（完成工事額）の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 13.9	△ 15.7	△ 21.8	△ 27.1	△ 37.5	△ 43.8
建 設 業	△ 15.2	△ 12.6	△ 29.3	△ 33.1	△ 29.2	△ 39.1
小 売 業	△ 21.5	△ 26.2	△ 37.9	△ 38.0	△ 39.5	△ 37.2
サービス業	△ 1.0	△ 6.1	△ 1.2	△ 15.4	△ 6.0	△ 20.0

### ② 採 算

宮城の今期の採算D Iは、前期との比較で製造業、建設業、サービス業で悪化、小売業で改善となった。

今期の宮城の全国・東北との採算D I比較では、製造業、建設業、サービス業で全国・東北以下、小売業で全国以下・東北以上であった。

表－4 採算の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 25.0	△ 24.7	△ 26.9	△ 25.5	△ 34.4	△ 46.9
建 設 業	△ 23.7	△ 21.4	△ 40.0	△ 40.5	△ 33.3	△ 50.0
小 売 業	△ 30.3	△ 33.7	△ 40.5	△ 45.5	△ 53.4	△ 41.8
サービス業	△ 22.1	△ 25.5	△ 25.0	△ 33.7	△ 30.6	△ 44.9

### (3) 今後の見通しについて

#### ① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（2025年1月～3月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業が21.9ポイント、サービス業で10.0ポイントの改善、建設業では△13.1ポイント、小売業でも△2.4ポイント悪化の見通しとなった。

採算来期見通しD Iでは、今期状況D Iとの比較で、製造業で6.3ポイント、建設業で4.2ポイント、サービス業で6.1ポイントの改善、小売業では△11.7ポイント悪化の見通しとなった。

#### ② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業では売上が全国・宮城で改善、採算でも全国・宮城で改善の見通し。建設業では売上が全国・宮城で悪化、採算では全国・宮城で改善の見通し。小売業では売上が全国で改善、宮城で悪化、採算では全国で改善、宮城で悪化の見通し。サービス業では売上が全国で悪化、宮城で改善、採算では全国・宮城で改善の見通しとなった。

表－5 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 15.7	△ 10.8	△ 43.8	△ 21.9
建設業	△ 12.6	△ 16.5	△ 39.1	△ 52.2
小売業	△ 26.2	△ 25.2	△ 37.2	△ 39.6
サービス業	△ 6.1	△ 6.4	△ 20.0	△ 10.0

表－6 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 24.7	△ 19.4	△ 46.9	△ 40.6
建設業	△ 21.4	△ 19.8	△ 50.0	△ 45.8
小売業	△ 33.7	△ 30.2	△ 41.8	△ 53.5
サービス業	△ 25.5	△ 21.9	△ 44.9	△ 38.8

## 2. 県下産業別の景況

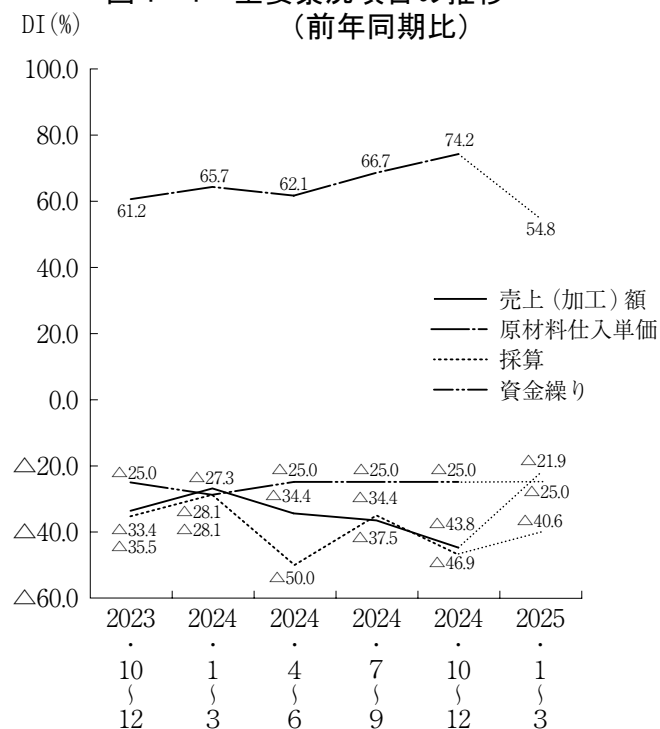
### (1) 製造業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

前年同期比D Iは、売上（加工）額D Iが今期△43.8（前期△37.5）となり前期比△6.3ポイント悪化、採算D Iでは今期△46.9（前期△34.4）で△12.5ポイント悪化、資金繰りD Iでは今期△25.0（前期△25.0）で横ばいとなった。

原材料仕入単価は今期74.2（前期66.7）と7.5ポイントの増加となった。

図1-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



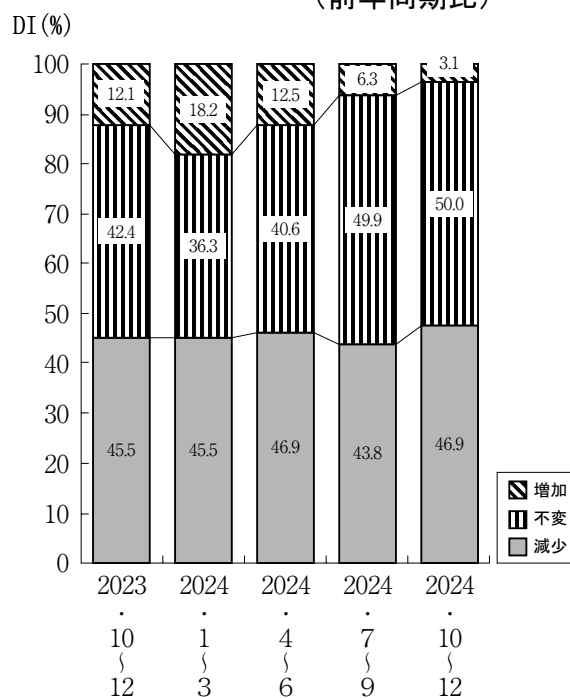
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上（加工）額

「増加」と回答した企業は、全体の3.1%（前期6.3%）で△3.2ポイントの減少、「減少」と回答した企業は46.9%（前期43.8%）で3.1ポイント増加した。

その結果、売上（加工）額D Iは△43.8（前期△37.5）となり、前期比△6.3ポイントの悪化となった。

図1-2 売上（加工）額の状況  
(前年同期比)

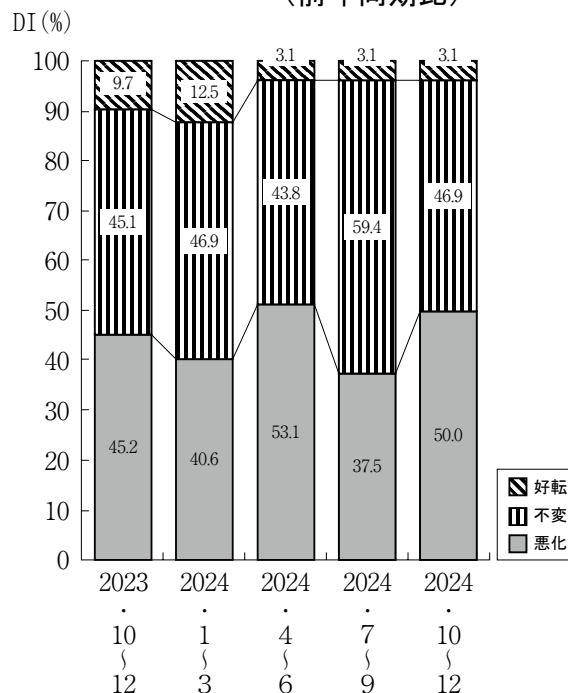


## (b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の3.1%（前期3.1%）で横ばい、「悪化」と回答した企業は50.0%（前期37.5%）で12.5ポイント増加した。

その結果、採算DIは△46.9（前期△34.4）で△12.5ポイントの悪化となった。

図1-3 採算の状況  
（前年同期比）



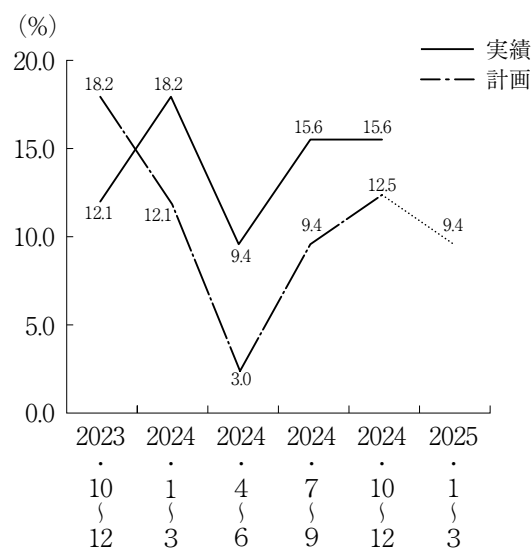
## (c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は全体の15.6%（前期15.6%）で前期と比べ横ばいとなった。

その設備内容は、工場建物、生産設備、OA機器、福利厚生施設であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の9.4%で、その設備内容は、工場建物、生産設備、車両・運搬具、付帯施設、OA機器となっている。

図1-4 設備投資の状況



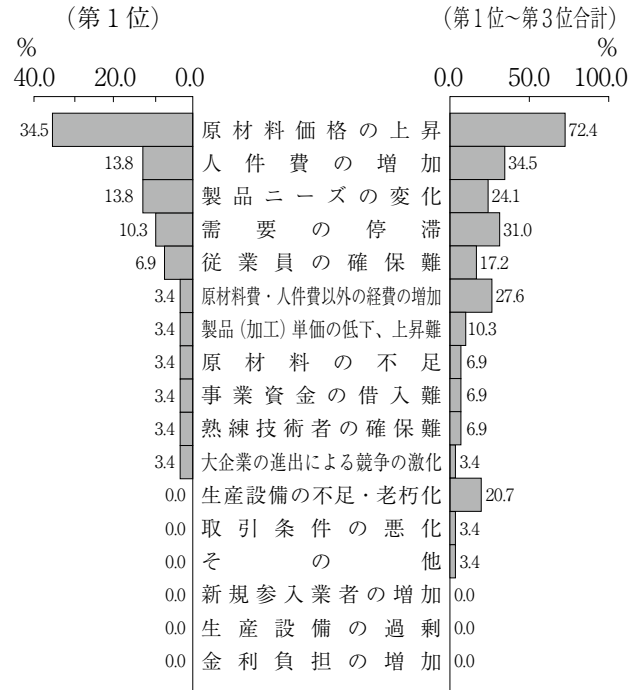


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「原材料価格の上昇」で34.5%、次いで「人件費の増加」、「製品ニーズの変化」が同率13.8%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では「原材料価格の上昇」が72.4%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「人件費の増加」が34.5%、「需要の停滞」が31.0%、「原材料費・人件費以外の経費」が27.6%、「製品ニーズの変化」が24.1%、「生産設備の不足・老朽化」が20.7%、「従業員の確保難」が17.2%、「製品（加工）単価の低下、上昇難」が10.3%で続いた。

図1-5 経営上の問題点



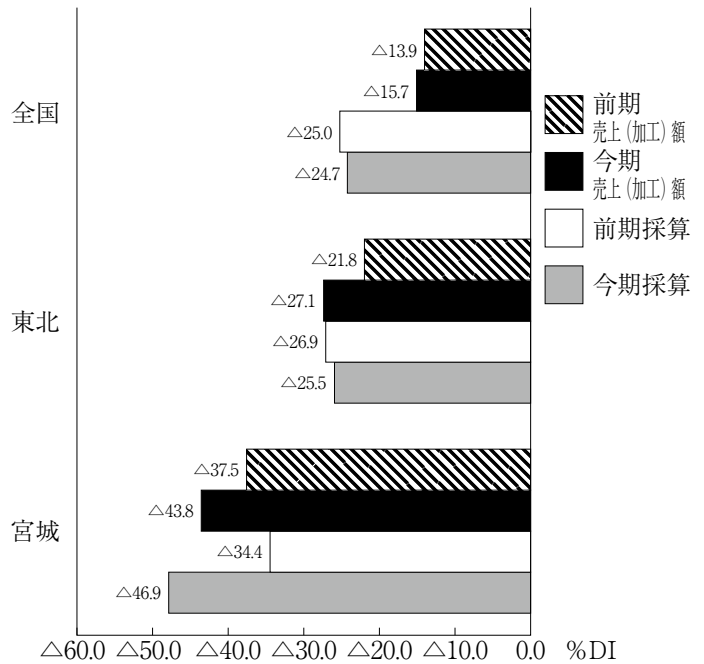
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較で、売上（加工）額D Iは全地域（全産業）で悪化となった。その悪化度は宮城、東北、全国の順であった。

採算D Iでは全国、東北で改善、宮城で悪化となった。

本県回答事業者からは「以前と比べ小規模工事が増加」（畳製造業）とする一方、「材料費の高騰」（菓子製造）、「3年連続で仕入単価が上昇、ランニングコスト増に歯止めがかからない」（印刷業）、「人件費高騰に見合った工数単価アップが認められず苦慮」（機械加工）、「人手不足に伴う人件費上昇で収益圧迫」（酒類製造）などのコメントが寄せられた。

図1-6 全国東北宮城売上（加工）額・採算比較（前年同期比）



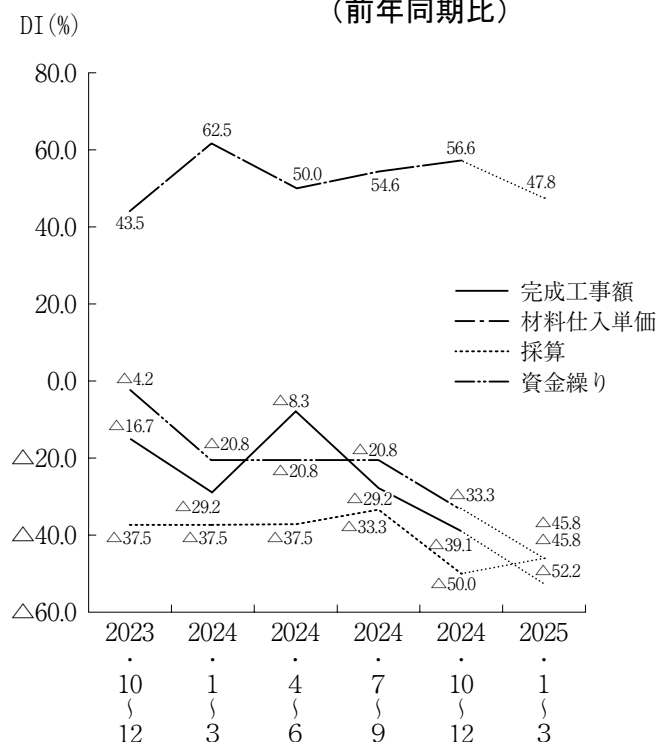
## (2) 建設業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

完成工事（請負工事）額D Iは今期△39.1（前期△29.2）となり前期比△9.9ポイント悪化、採算D Iでは今期△50.0（前期△33.3）で△16.7ポイント悪化、資金繰りD Iでは今期△33.3（前期△20.8）で△12.5ポイントの悪化となった。

材料仕入単価D Iは今期 56.6（前期 54.6）と 2.0ポイントの増加となった。

図 2-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



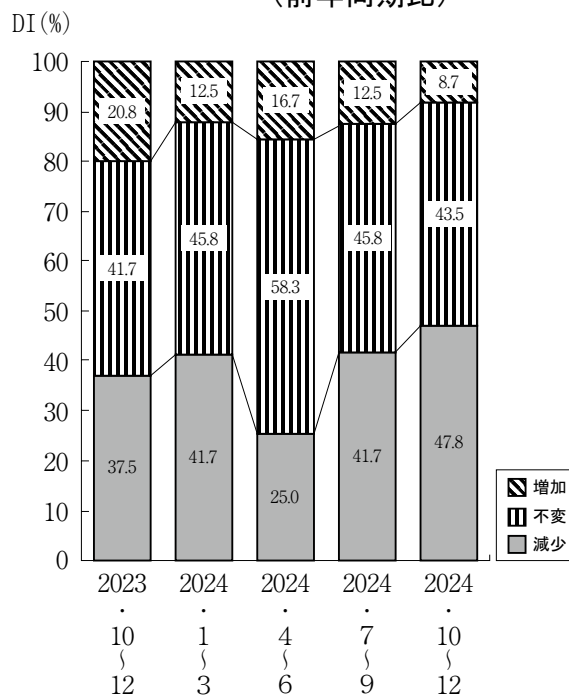
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 完成工事（請負工事）額

「増加」と回答した企業は全体の 8.7%（前期 12.5%）で△3.8ポイント減少、「減少」と回答した企業は 47.8%（前期 41.7%）で 6.1ポイントの増加となった。

その結果、完成工事（請負工事）額D Iは△39.1（前期△29.2）となり、前期比△9.9ポイントの悪化となった。

図 2-2 完成工事額の状況  
(前年同期比)

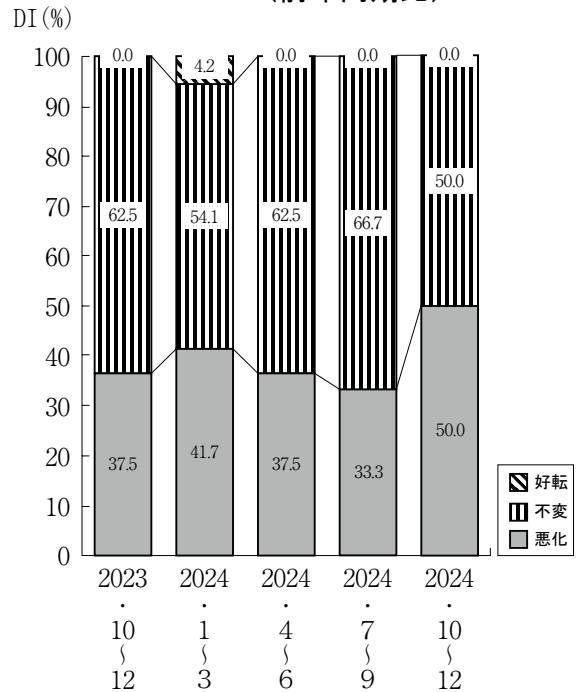


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の0.0%（前期0.0%）で横ばい、「悪化」と回答した企業は全体の50.0%（前期33.3%）で16.7ポイント増加した。

その結果、採算DIは△50.0（前期△33.3）となり△16.7ポイントの悪化となった。

図2-3 採算の状況  
(前年同期比)



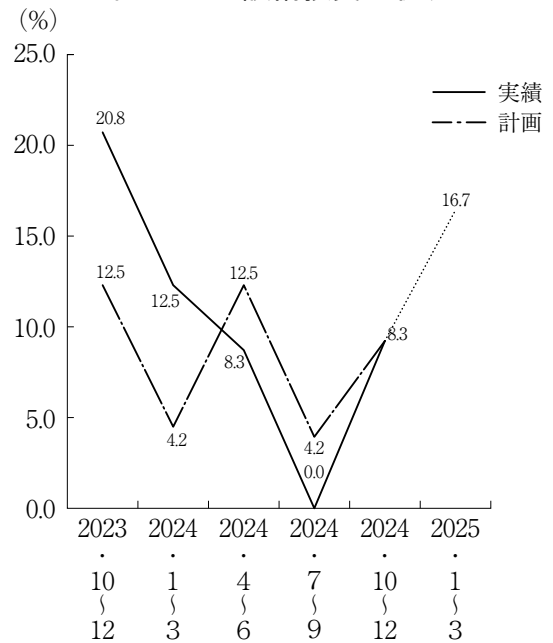
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は全体の8.3%（前期0.0%）で前期と比べ8.3ポイント増加した。

その設備内容は、建物、建設機械であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の16.7%で、その設備内容は、建物、車両・運搬具、OA機器となっている。

図2-4 設備投資の状況

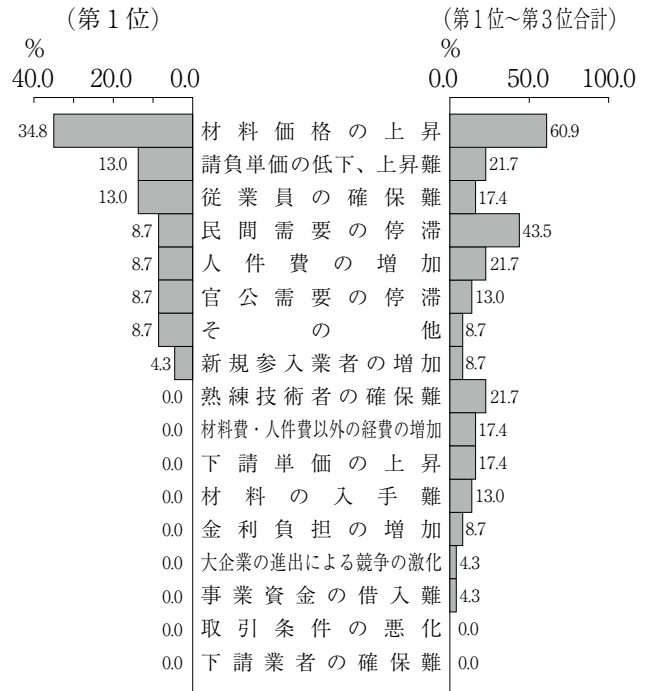


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「材料価格の上昇」が34.8%、次いで「請負単価の低下、上昇難」「従業員の確保難」が同率13.0%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「材料価格の上昇」が60.9%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「民間需要の停滞」が43.5%、「請負単価の低下、上昇難」「人件費の増加」「熟練技術者の確保難」が同率21.7%、「従業員の確保難」「材料費・人件費以外の経費の増加」「下請単価の上昇」が同率17.4%、「官公需用の停滞」「材料の入手難」が同率13.0%で続いた。

図2-5 経営上の問題点



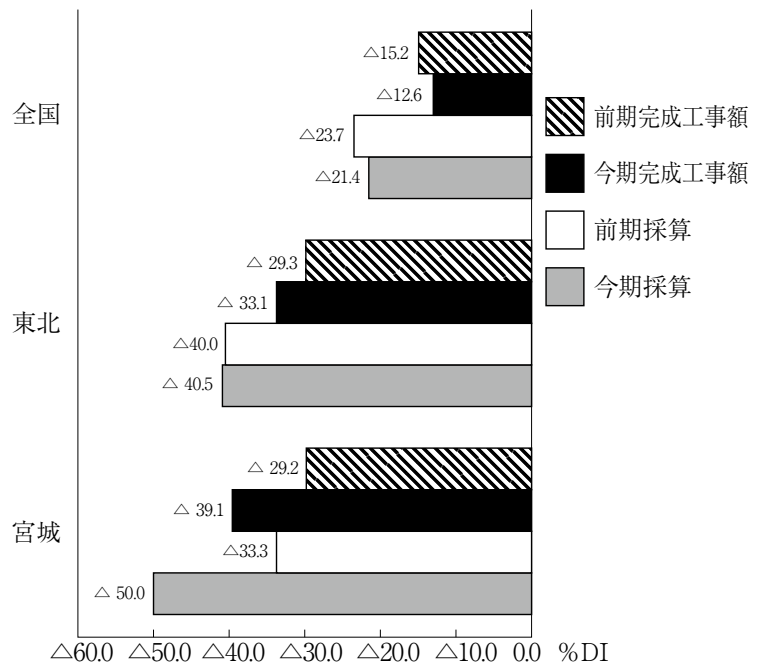
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較では、完成工事額D Iは全国で改善、東北、宮城で悪化となった。

採算D Iでも全国で改善、東北、宮城で悪化となった。

本県回答事業所からは「口コミ・紹介者から受注につながった」（一般建築）とする一方、「県内工事量の減少による取引企業の受注減」（土木工事）、「引合い案件の減少」「仕入れコストの上昇や、従業員の確保維持等で、利益確保が困難」（電気工事）などのコメントが寄せられた。

図2-6 全国東北宮城完成工事額・採算比較（前年同期比）



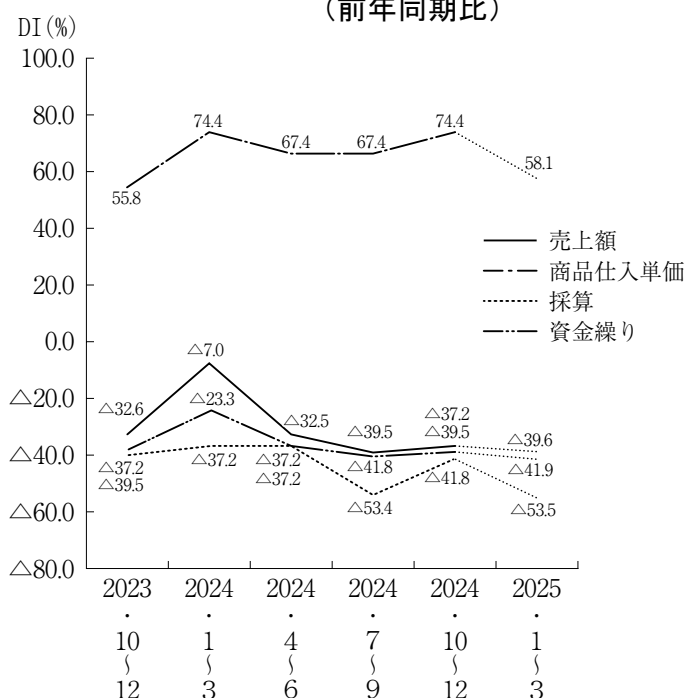
### (3) 小売業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上額DIは今期△37.2(前期△39.5)となり前期比2.3ポイント改善、採算DIでは今期△41.8(前期△53.4)で11.6ポイント改善、資金繰りDIでは今期△39.5(前期△41.8)で2.3ポイント改善した。

商品仕入単価DIは今期74.4(前期67.4)で7.0ポイントの増加となった。

図3-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



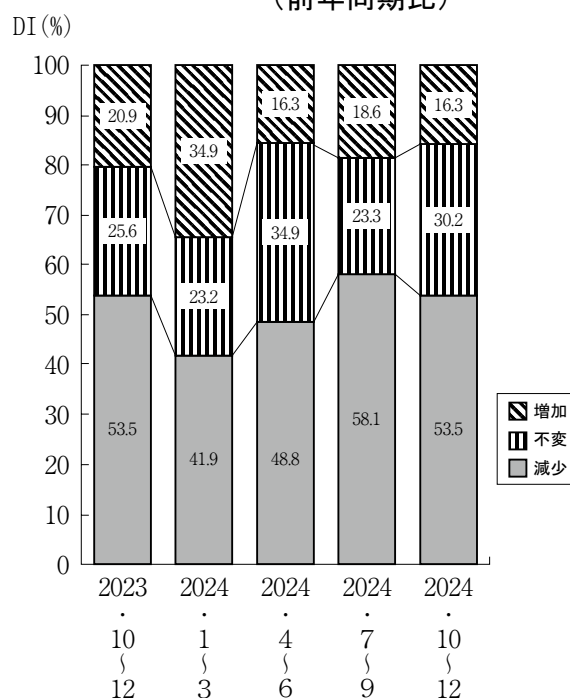
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の16.3%(前期18.6%)で△2.3ポイント減少、「減少」の回答は、今期は全体の53.5%(前期58.1%)で△4.6ポイント減少した。

その結果、売上額DIは今期△37.2(前期△39.5)と前期より2.3ポイントの改善となった。

図3-2 売上額の状況  
(前年同期比)

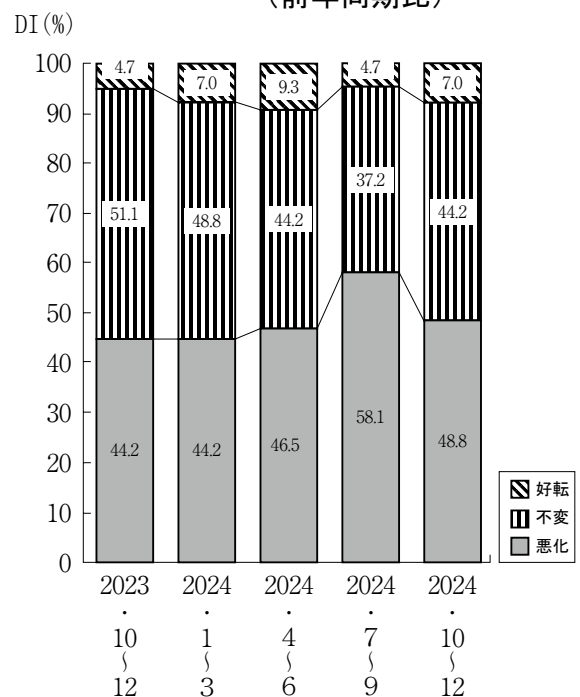


## (b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の7.0%（前期4.7%）で2.3ポイント増加、「悪化」の回答は、今期は全体の48.8%（前期58.1%）で△9.3ポイント減少した。

その結果、採算DIは今期△41.8（前期△53.4）となり11.6ポイントの改善となった。

図3-3 採算の状況  
(前年同期比)



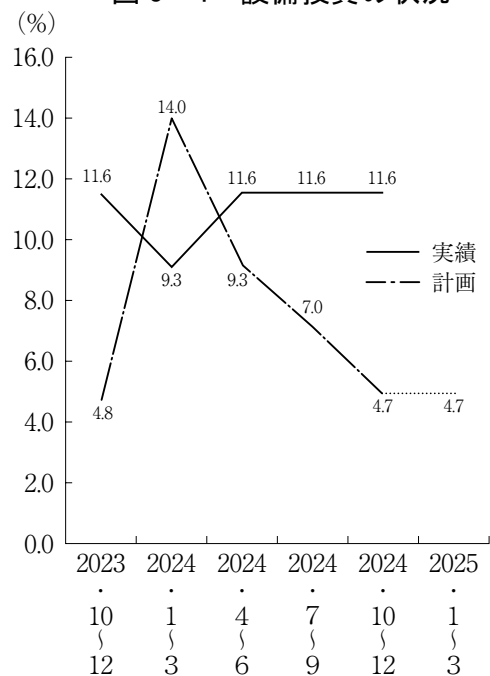
## (c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の11.6%（前期11.6%）で前期と比べ横ばいとなった。

その設備内容は、土地、店舗、販売設備、車両・運搬具、付帯施設、OA機器、福利厚生施設であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の4.7%で、その設備内容は、土地、店舗、販売設備、付帯施設、OA機器となっている。

図3-4 設備投資の状況

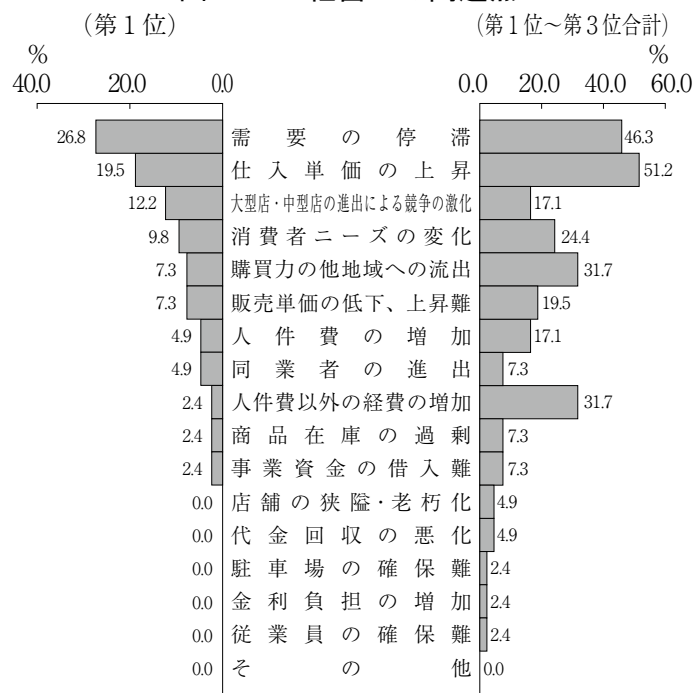


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は、「需要の停滞」が26.8%、次いで「仕入単価の上昇」が19.5%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が12.2%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「仕入単価の上昇」が51.2%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「需要の停滞」が46.3%、「購買力の他地域への流出」「人件費以外の経費の増加」が同率31.7%、「消費者ニーズの変化」が24.4%、「販売単価の低下、上昇難」が19.5%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」「人件費の増加」が同率17.1%で続いた。

図3-5 経営上の問題点



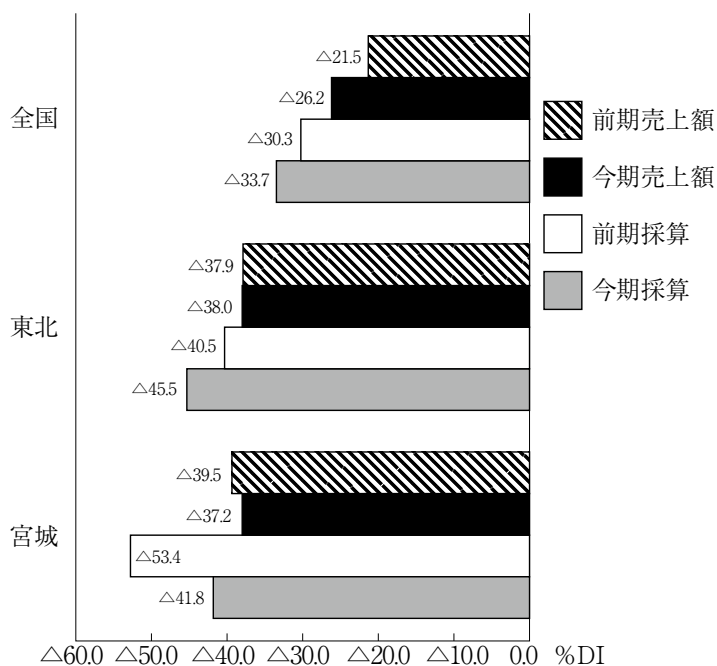
### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較で売上DIは、全国、東北で悪化、宮城で改善となった。

採算DIの比較でも全国、東北で悪化、宮城で改善となった。

本県回答事業所から「医薬品の品揃え、確保が増加」（調剤薬局）とする一方で、「地球温暖化等の影響で消費購買需要期の予測が困難」（身の回り品）、「材料費の上昇」（生花販売）、「物価高騰の影響による売上低下、採算割れ」「人件費以外の経費増で資金繰りに苦慮」（食料品）、「購入数量の減少、仕入単価の上昇」（海産物）などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較（前年同期比）



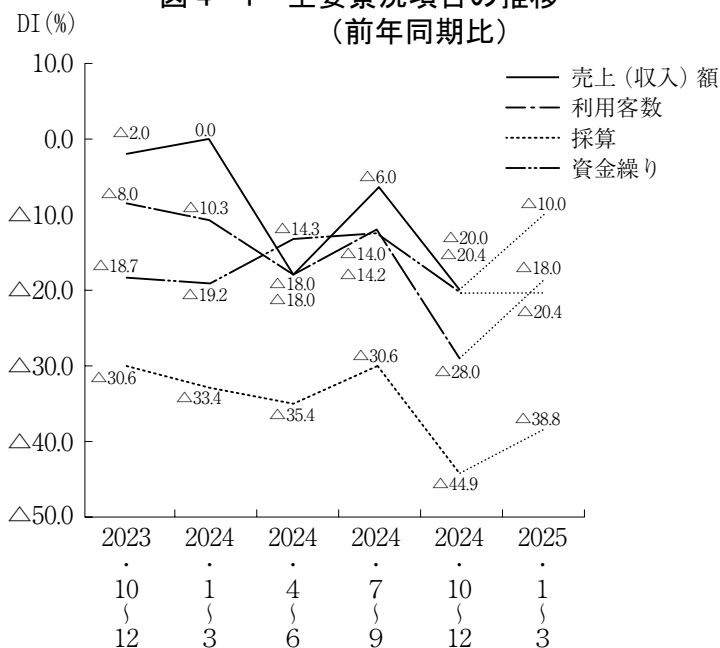
## (4) サービス業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上（収入）額DIは今期20.0（前期△6.0）となり前期比△14.0ポイント悪化、採算DIは今期△44.9（前期△30.6）で△14.3ポイント悪化、資金繰りDIでは、今期△20.4（前期△14.2）で△6.2ポイント悪化した。

利用客数DIは、今期△28.0（前期△14.0）で△14.0ポイント低下した。

図4-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



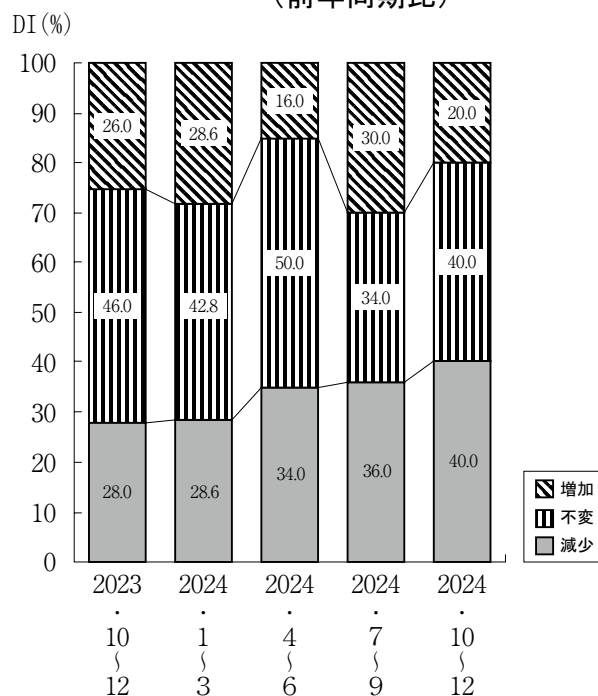
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 売上（収入）額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の20.0%（前期30.0%）で前期より△10.0ポイント減少、「減少」の回答は今期40.0%（前期36.0%）で4.0ポイント増加した。

その結果、売上（収入）額DIは今期△20.0（前期△6.0）で、前期より△14.0ポイントの悪化となった。

図4-2 売上（収入）額の状況  
(前年同期比)



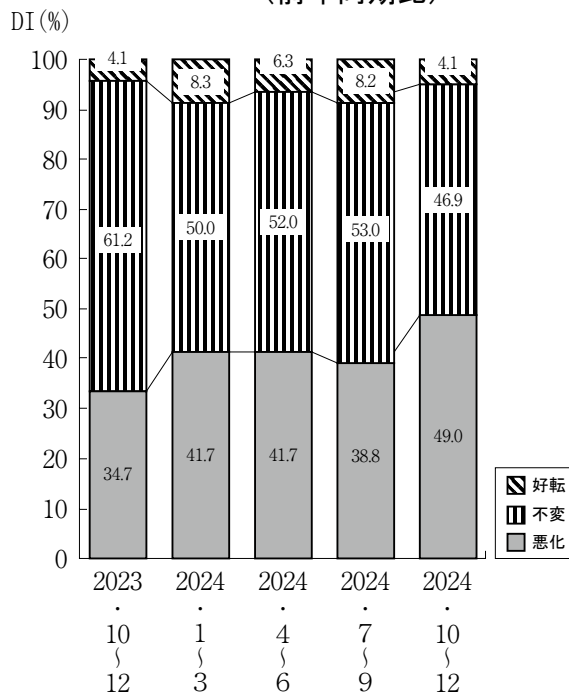


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の4.1%（前期8.2%）で△4.1ポイント減少、「悪化」と回答した企業は今期49.0%（前期38.8%）で10.2ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△44.9（前期△30.6）で前期より△14.3ポイントの悪化となった。

図4-3 採算の状況  
(前年同期比)



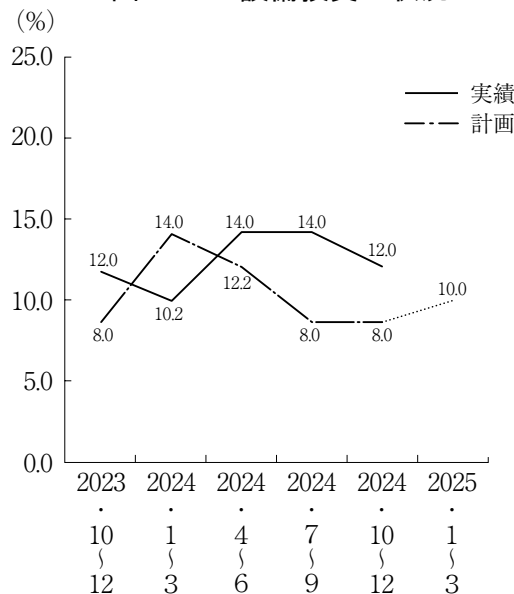
### (c) 設 備 投 資

今期新規投資を実施（実績）した企業は全体の12.0%（前期14.0%）で、前期と比べ△2.0ポイント減少した。

その設備内容は、土地、建物、車両・運搬具、OA機器であった。

来期に設備計画している企業割合は全体の10.0%で、その設備内容は、土地、建物、サービス、車両・運搬具、付帯施設、OA機器となっている。

図4-4 設備投資の状況

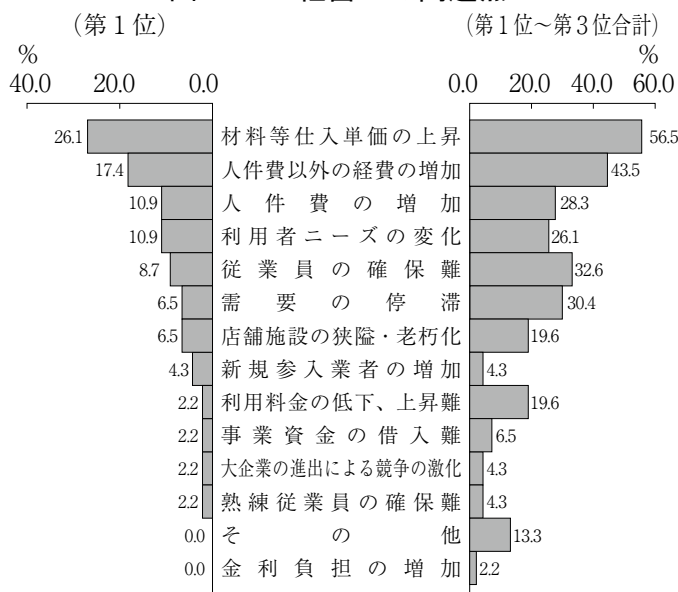


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は、「材料等仕入単価の上昇」が26.1%で、次いで「人件費以外の経費の増加」が17.4%、「人件費の増加」「利用者ニーズの変化」が同率10.9%であった。

重要度第1位から第3位合計では「材料等仕入単価の上昇」が56.5%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「人件費以外の経費の増加」が43.5%、「従業員の確保難」が32.6%、「需要の停滞」が30.4%、「人件費の増加」が28.3%、「利用者ニーズの変化」が26.1%、「店舗施設の狭隘・老朽化」「利用料金の低下、上昇難」が同率19.6%で続いた。

図4-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較で売上DIは、全地域（全産業）で悪化。その悪化度は、東北、宮城、全国の順であった。

採算DI比較でも全地域（全産業）で悪化。その悪化度は宮城、東北、全国の順であった。

本県回答事業所からは、「コロナ収束後、客足は徐々に回復」「土日祝祭日のテイクアウトが増加」（飲食業）とする一方、「原材料・食材の高騰、ガソリン価格の上昇で採算割れが懸念」（飲食業）、「資格保有者の確保難」（自動車整備）、「宿泊税導入による入込客数への影響」「施設修繕費、物価高騰・人件費が重い」（宿泊業）、などのコメントが寄せられた。

図4-6 全国東北宮城売上（収入）額・採算比較（前年同期比）

